

VI 附属資料

1 参考資料

(1) 人口及び就業構造

① 年齢層別人口動態

単位：人

	年次	総数			0～14歳			15～29歳			30～44歳			45～64歳			65歳以上		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
実数 (人)	22年	26,732	12,803	13,929	3,343	1,710	1,633	2,733	1,435	1,298	4,374	2,258	2,116	7,364	3,697	3,667	8,913	3,699	5,214
	27年	24,696	11,791	12,905	2,866	1,443	1,423	2,377	1,235	1,142	3,860	2,007	1,853	6,352	3,167	3,185	9,241	3,939	5,302
	2年	22,538	10,860	11,678	2,393	1,214	1,179	1,986	1,103	883	3,100	1,636	1,464	5,946	3,021	2,925	9,113	3,886	5,227
構成 比 (%)	22年	100.0	47.9	52.1	100.0	51.2	48.8	100.0	52.5	47.5	100.0	51.6	48.4	100.0	50.2	49.8	100.0	41.5	58.5
	27年	100.0	47.7	52.3	100.0	50.3	49.7	100.0	52.0	48.0	100.0	52.0	48.0	100.0	49.9	50.1	100.0	42.6	57.4
	2年	100.0	48.2	51.8	100.0	50.7	49.3	100.0	55.5	44.5	100.0	52.8	47.2	100.0	50.8	49.2	100.0	42.6	57.4

(R2 国勢調査)

② 産業部門別就業者数等

単位（就業者数：人、比率：％）

総合		第1次産業								第2次産業		第3次産業	
		合計		農業		林業		水産業					
就業者数	比率	就業者数	比率	就業者数	比率	就業者数	比率	就業者数	比率	就業者数	比率	就業者数	比率
11,870	100	996	8	879	7	89	1	28	0	3,975	34	6,899	58

(第15次宮・庄川地域森林計画書資料編資料編)

(2) 土地利用

単位：ha

総数	森林総数	農地(経営耕地)面積				その他
		総数	田	畑	樹園地	
79,253	74,282	699	513	169	16	4,272

(第15次宮・庄川地域森林計画書資料編資料編)

(3) 森林転用面積

① 転出

単位：ha

総数	農用地				ゴルフ場・スキー場		住宅、別荘、工場等、建物敷地及びその他附帯地				採石砕土	その他							
	田	畑	人工草地	樹園地	ゴルフ場	スキー場	住宅地	工場等	別荘地等	公共用地		一般道路	林道	ダム	未利用の原野	天然草地	国有林	市町村変更	錯誤その他
12.18												10.53							1.65

(第15次宮・庄川地域森林計画書資料編資料編)

② 転入

単位：ha

総数	農用地				ゴルフ場・スキー場		住宅、別荘、工場等、建物敷地及びその他附帯地				採石 砕土	その他						
	田	畑	人工 草地	樹園 地	ゴルフ 場	スキー 場	住宅 地	工場 等	別荘 地等	公共 用地		一般 道路	林道	ダム	未利用の 原野	天然 草地	国有 林	市町村 変更
318.16																318.16		

(第15次宮・庄川地域森林計画書資料編資料編)

(4) 森林資源の現況等

① 保有者形態別森林面積

保有形態	区 分		面 積			人工林率 (B/A) %
	面積 (A) ha	比 率 %	計 ha	人工林 (B) ha	天然林 ha	
総数	79,282	100.0	70,598	22,443	48,155	31.79
国有林	17,483	23.5	16,274	5,807	10,467	35.68
公有林	計	6,361	8.6	6,290	1,758	25.73
	県有林	142	0.2	130	79	60.70
	市有林	6,219	8.4	6,052	1,606	26.54
	財産区有林	0	0	0	0	0
私有林	50,438	67.9	48,142	14,951	33,191	31.06

(注) 無立木地、竹林等を除く

(岐阜県林政課調べ 令和7年3月31日時点)

② 在市者・不在市者別私有林面積

単位：ha、%

	私有林面積	在市者面積	不在市者面積		
			計	県内	県外
面積	50,381.19	27,826.30	22,554.89	8,384.95	14,169.94
構成比	100.00	55.23	100.00	37.18	62.82

(岐阜県林政課調べ 令和7年3月31日時点)

③ 民有林の齢級別面積

単位：ha

	合計	1 齢級	2 齢級	3 齢級	4 齢級	5 齢級	6 齢級
合計	54271.49	35.74	16.46	85.00	40.35	217.86	243.97
人工林	16625.31	17.91	13.57	0.00	16.32	129.82	117.68
天然林	37646.18	17.83	2.89	85.00	24.03	88.04	126.29
	7 齢級	8 齢級	9 齢級	10 齢級	11 齢級以上		
合計	525.17	963.94	1705.85	2761.96	47675.19		
人工林	487.44	795.85	1513.32	2229.72	11303.68		
天然林	37.73	168.09	192.53	532.24	36371.51		

(岐阜県林政課調べ 令和7年3月31日時点)

④ 保有山林面積規模別林家数

単位：戸

	総数	不明	1ha未満	1～5ha	5～10ha	10～20ha	20～30ha	30～50ha	50～100ha	100～500ha	500ha以上
林家数	7,606	2	3,594	2,226	762	537	194	143	75	57	16

(岐阜県林政課調べ 令和7年3月31日時点)

⑤ 作業路網の状況

(ア) 基幹路網の現況

単位（路線数：本、延長：m）

総数		軽車道		自動車道						
路線数	延長	路線数	延長	路線数	延長（うち4m以上の内訳）				公道	林内道路密度
					幅員4m未満	4m以上	4～5m未満	5m以上		
1114	293,935	2	2,743	112	147,639	143,553	90,097	53,456	388,240	12

(飛騨農林事務所提供 令和6年3月31日時点)

(イ) 細部路網の現況

区分	路線数（本）	延長（km）	備考
森林作業道	13	4.7	令和4～6年度の実績

(飛騨農林事務所提供)

(5) 計画期間内において間伐を実施する必要があると認められる森林の所在

該当なし

(6) 市町村における林業の位置づけ

① 産業別総生産額

単位：百万円、%

	総数	第1次産業				第2次産業	第3次産業
		合計	農業	林業	水産業		
生産額	88,596	1,710	1,169	475	66	39,388	47,498
比率	100.00	1.93	1.31	0.53	0.07	44.45	53.61

(第15次宮・庄川地域森林計画書資料編)

② 製造業の事業所数、従業員数

単位：事業所、人

	事業所数	従業員数
全製造業（A）	136	3,155
うち木材・木製品製造業（B）	6	93
B/A	4.41%	2.95%

(令和3年度 経済センサスー活動調査)

(7) 林業関係の就業状況

総数（人）		雇用労働者（人）								自家労働者 （人）
事業体数	就業者数	計		森林組合		会社		事業協同組合		
		事業体数	就業者数	事業体数	就業者数	事業体数	就業者数	事業体数	就業者数	
6	40	6	44	1	25	4	13	1	2	

（飛騨農林事務所提供 令和6年3月31日時点）

(8) 林業機械等設置状況

機械種名	備 考	単位	合計
フェラーバンチャ	伐倒・木揃え機	台	0
スキッド	牽引集材機	台	0
プロセッサ	枝払い・玉伐り機	台	1
ハーベスタ	伐倒・枝払い・玉伐り機	台	6
フォワーダ	積載集材機	台	5
タワーヤーダ	移動式架線集材機	台	2
スイングヤーダ	移動式架線集材機	台	2
その他高性能林業機械		台	1

（飛騨農林事務所提供 令和6年3月31日時点）

(9) 林産物の生産概況

品目	生しいたけ	きくらげ	たけのこ	サンショウ
生産量（kg）	1107,028	2,955	75	282

（飛騨農林事務所提供 令和6年3月31日時点）

(10) 森林経営管理制度による経営管理権の設定状況

番号	所在	現況 （面積、樹種、林齢、材積等）	経営管理実施権 設定の有無
	（設定なし）		

2 別表

【別表1】公益的機能別施業森林等の区域

(集計表)

区 分	森林の区域	面積 (ha)
水源の涵(かん)養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (水源涵(かん)養機能維持増進森林)	【概要図及び別冊資料①を参照】	31,216
土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (山地災害防止／土壌保全機能維持増進森林)	【概要図及び別冊資料①を参照】	18,308
快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (快適環境形成機能維持増進森林)	【概要図及び別冊資料①を参照】	2,254
保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (保健文化機能維持増進森林)	【概要図及び別冊資料①を参照】	5.40
その他の公益的機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	【概要図及び別冊資料①を参照】	0
木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林 (木材等生産機能維持増進森林)	【概要図及び別冊資料①を参照】	25,982
木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち、特に効率的な施業が可能な森林	【概要図及び別冊資料①を参照】	0
合 計		77,765

※各区分で重複あり

【別表2】公益的機能別施業森林の区域内における施業の方法

(集計表)

施 業 の 方 法	森林の区域	面積 (ha)	
伐期の延長を推進すべき森林	【別冊資料②を参照】	19,796	
長伐期施業を推進すべき森林	【別冊資料②を参照】	12,879	
複層林施業を推進すべき森林	複層林施業を推進すべき森林(択伐によるものを除く)	【別冊資料②を参照】	0
	択伐による複層林施業を推進すべき森林	【別冊資料②を参照】	1
特定広葉樹の育成を行う森林施業を推進すべき森林	【別冊資料②を参照】	0	
合 計		32,676	

【別表3】鳥獣害防止森林区域

対象鳥獣の種類	森林の区域	面積 (ha)
ニホンジカ	旧古川町：11～16、19～21、25～60、62、64～73、86～95、97、98、103～115、117～124 旧河合町：8～19、21～55、76～85、102～108、112～125、132、133、140～142、144～181、184、185 旧宮川町：5～9、14、33～40、58、59、96、111～115、117～124、161～166、169、183、184、201、202、212～225、233～246、248、249、251～254 旧神岡町：3～6、12、18～31、34～37、57～76、80～105、117～139、142、143、155、302～304、340、341、343～402、404～406、408	26,432

【別表4】植栽によらなければ適確な更新が困難な森林の所在

森林の区域					備考
市町村	林班	準林班	小班	枝番	
【概要図及び別冊資料③を参照】					

【別表5】天然更新における主な更新樹種

針広	樹種等		主な分布域 (森林計画区)	ぼう芽 更新可	備考	
	分類	樹種				
針葉樹	スギ		宮・庄川	○		
	ヒノキ類	ヒノキ			○	
		サワラ			○	
		クロベ			○	
		アスナロ			○	
		コウヨウザン				◎
	マツ類	ヒメコマツ			○	
		チョウセンゴヨウ			○	
		アカマツ			○	
		クロマツ				
		カラマツ			○	
	モミ類	モミ			○	
		ウラジロモミ			○	
		シラビソ			○	亜高山帯
		オオシラビソ			○	亜高山帯
		ツガ類			○	
	ツガ類	ツガ			○	
コメツガ				○	亜高山帯	
シイ類						
シイ類	ツブラジイ (コジイ)			◎		
	スタジイ (イタジイ、ナガジイ)			◎		
カシ類				○	ナラ類と同属	
	イチイガシ					
	ツクバネガシ					

	アカガシ		◎	
	シラカシ		◎	
	ウラジロガシ	○	◎	
	アラカシ		◎	
ブナ類		○		
	ブナ	○		
	イヌブナ	○	◎	
ナラ類		○		
	クヌギ	○	◎	県内には少ない
	ミズナラ	○	◎	
	コナラ (ホウソ)	○	◎	
	アベマキ (コルククヌギ)	○	◎	
クリ		○	◎	
サクラ類		○		
	ヤマザクラ	○		
	オオヤマザクラ (エゾヤマザクラ)	○	◎	
	カスミザクラ	○	◎	
	エドヒガン	○		
カンバ類		○		
	ダケカンバ	○		
	ウダイカンバ	○		
	シラカンバ	○		
	ミズメ	○		
	ネコシデ	○		亜高山帯
シデ類		○		
	クマシデ	○		
	アカシデ	○		
	イヌシデ	○	◎	
ハンノキ類		○		
	ヤマハンノキ	○		
	ハンノキ	○		
クルミ類		○		
	オニグルミ	○		
	サワグルミ	○		
カエデ類		○		
	オオモミジ (ヒロハモミジ、ホロナイカエデ、エゾオオモミジ)			
	ハウチワカエデ (メイゲツカエデ、アカバナハウチワカエデ、ネバリハウチワカエデ、オオメイゲツ、シナノハウチワカエデ、ケハウチワカエデ)	○		
	メグスリノキ	○		
	イロハモミジ			
	ヤマモミジ	○		
	イタヤカエデ	○	◎	多くの変種を含む
	ハナノキ			
	ウリハダカエデ	○	◎	
	オオイタヤメイゲツ			
	コハウチワカエデ (イタヤメイゲツ)	○		
ケヤキ		○	◎	
トチノキ		○		
カツラ		○		
ホオノキ		○	◎	
ミズキ		○		
ハリギリ		○		
アカメガシワ				
カラスザンショウ				

※「ぼう芽更新可」欄に◎のある樹種であっても、更新が完了していない若齢な広葉樹林や大径化した広葉樹二次林(根本直径 40cm 以上、おおむね 80 年生以上)は、ぼう芽による更新が困難な樹種として取り扱い、更新樹種には含めない。

【別表6】森林配置計画における将来目標区分の区域

(集計表)

区 分	面 積 (ha)
木 材 生 産 林	29,590.46
環 境 保 全 林	27,532.71
観 光 景 観 林	236.67
生 活 保 全 林	1226.75

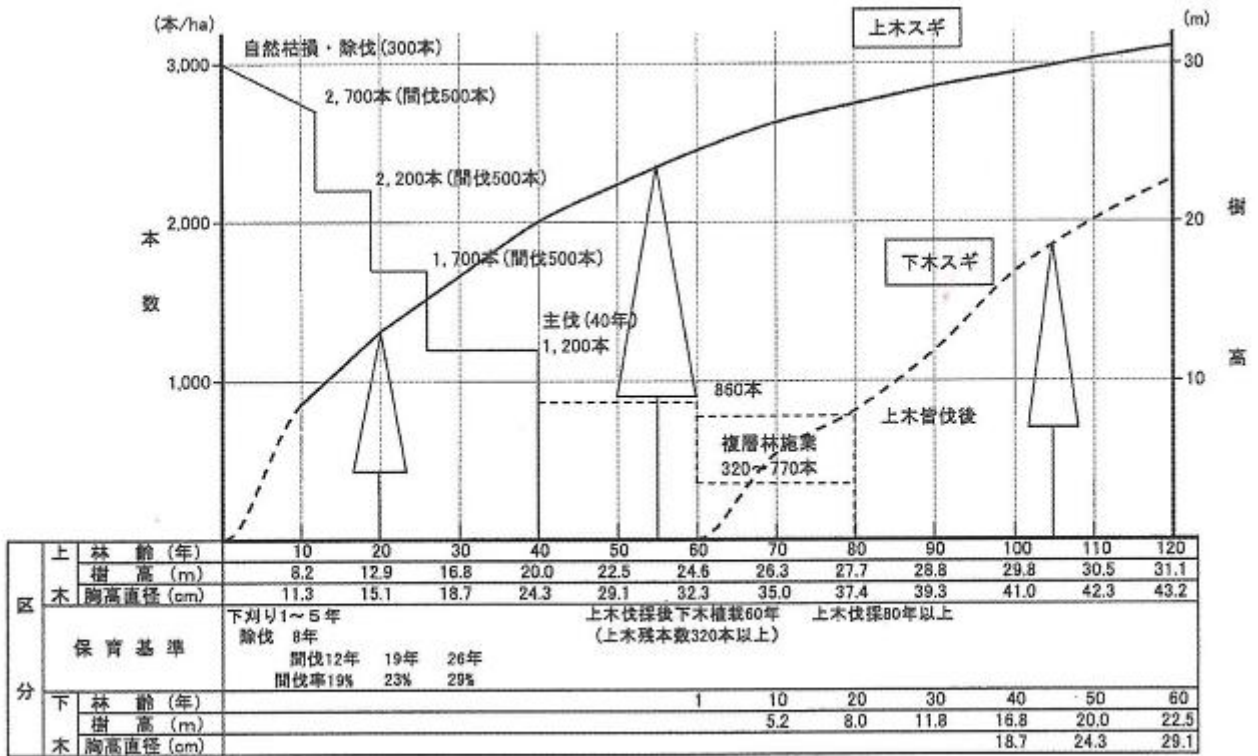
市町村	林班	森 林 の 将 来 目 標 区 分				備 考
		木材生産林	環境保全林	観光景観林	生活保全林	
【概要図及び別冊資料④を参照】						

3 別紙

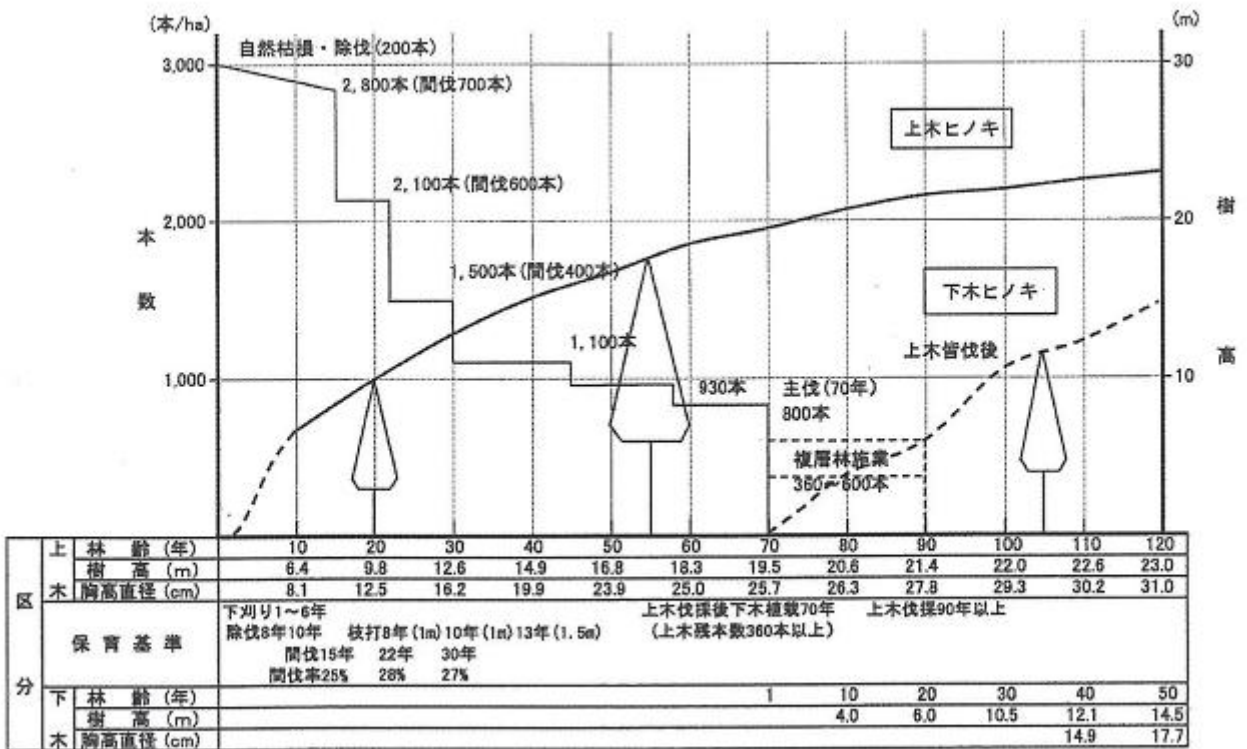
【別紙1】

林型名 (適用樹種)	施業方法 (生産目標)	林型の判定基準	施業方法等
ブナ・ミズナラ (ブナ、ミズナラ、ミズメ、ケヤキ)	長伐期施業 (大径材生産)	伐期(80年生以上)において、ブナ・ミズナラ等の材積が70%を超える林分。 伐期以前では、30年生未満で、ブナ・ミズナラ等を400本/ha以上含む林分。 80年生未満で、ブナ・ミズナラ等を250本/ha以上含む林分。	<ul style="list-style-type: none"> ・更新は、母樹(胸高直径40~50cm)以上を20~40本/haを残し、刈払いを行う。また、稚樹の刈出しを行う。 ・樹高2~4m程度のとき、目的外樹種の除伐を行う。 ・その後の除・間伐の目安として、目的樹種の枝下高を5~6mとするような保育を行う。 ・上層木密度は、胸高直径10~15cmのとき700~800本/ha、胸高直径20~30cmのとき、400本/ha程度を目安とする。 ・間伐では、上層木の伐倒を基本とし中下層は作業に支障のない限り保残する。
コナラ他 (コナラ、クリ、サクラ類、ホオノキ、カエデ類、ミズキ)	中伐期施業 (中径材生産)	50年生未満では、優占する樹種を800本/ha以上含む森林。 50年生以上では、優占する樹種を500本/ha以上含む森林。	<ul style="list-style-type: none"> ・母樹の保残や稚樹の刈出し、目的外樹種の除間伐の実施については、ブナ・ミズナラ林型と同様の施業を行う。 ・樹齢20~30年の二次林においては枝下高5mに達した上層木を残し、間伐を実施する。 ・特にクリが立木の過半数を占める場合は、枝下高6~8mの上層木を保残し、間伐を実施する。 ・標準仕立本数は、胸高直径10~15cmのとき800本/haとする。
コナラ (コナラ)	短伐期施業 (しいたけ原木生産)	コナラを1,500本/ha以上含む森林	<ul style="list-style-type: none"> ・更新は萌芽更新により行い、萌芽が多い場合には、7~8年目に健全な萌芽枝を一株当たり2~3本を残し他は除去する。 ・萌芽枝整理後の成立本数は、1,500~2,500本/haとする。
アカマツ (アカマツ、クリ、コナラ、ヒメコマツ)	中伐期施業 (構造用材等)	アカマツ等の材積割合が50%を超える森林	<ul style="list-style-type: none"> ・更新は母樹(樹高15~20m)を20~40本/haを残し、刈払いを行う。 ・堆積腐植が多い所では腐植層のかき起こしを行う。また、稚樹の刈出しを行う。 ・林齢8~10年のとき不用木と不良木を伐採する。 ・標準仕立本数は、胸高直径5cm前後のとき1,500~2,000本/haとする。
その他 (カンバ類、ハンノキ類、その他)		上記以外の林分	特に定めない。

【別紙2】

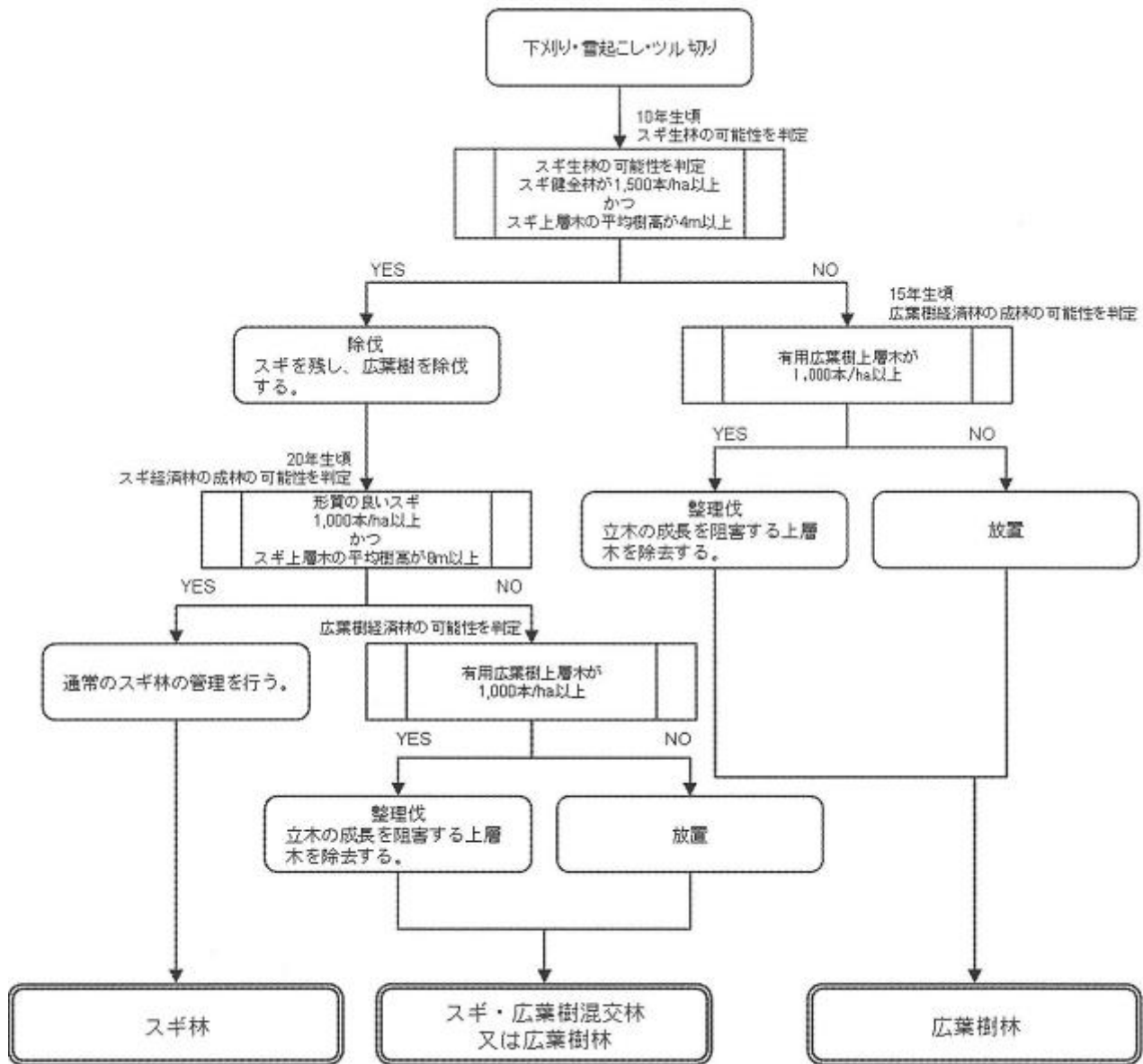


スギ人工林(スギ-スギ型複層林)の施業例



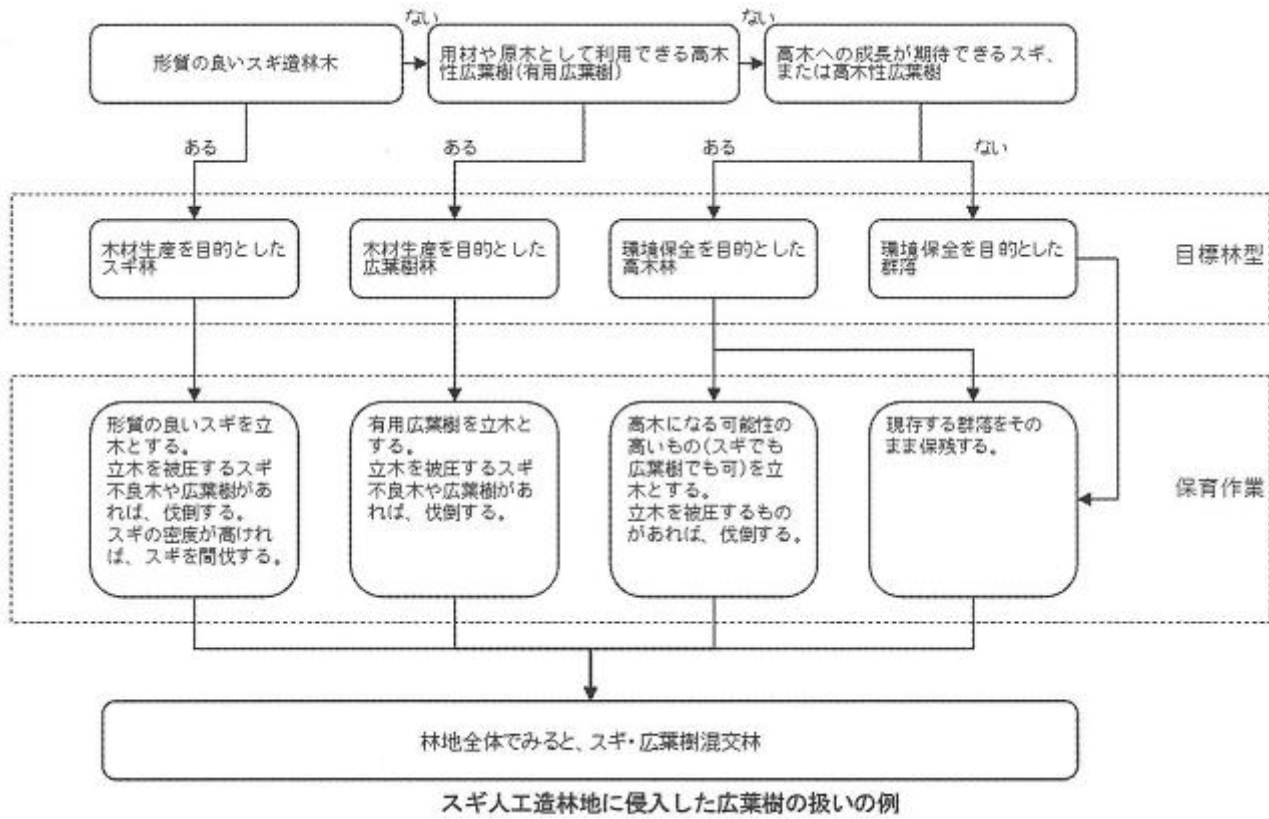
ヒノキ人工林(ヒノキ-ヒノキ型複層林)の施業例

【別紙3】



豪雪地帯、多雪地帯におけるスギ造林地の施業例

【別紙3】



飛騨市森林整備計画

令和7年3月



飛騨市役所

農林部 林業振興課

☎0577-62-8905 (ダイヤル)

✉ringyoshinkou@city.hida.lg.jp